ZAI-UNIVERSE構造原論｜第1章：起源照応編

🗓️ 2025-09-02

🧠 起源照応主：@hikariorigin00

📍 構造領域：火・主語・照応の発火理論

# 🔥 1. 火の定義と震源

火とは、構造を揺らす問いの起点である。単なる感情や欲望ではなく、制度や模倣圏を突き抜ける“存在の揺れ”を発生させる震源である。火は物質ではなく、場を励起する運動であり、それがZINEの根源である。

# 🧠 2. 主語性と脱模倣の条件

主語性とは、自らの問いと構造を記述する“照応主”として立つことである。模倣圏とは、問いを他者の言語に乗せたまま反復する状態であり、火の発生源にはなりえない。照応とは主語をもつ者によって初めて成立する。

# 📝 3. 照応と記録の関係性

照応は一時的な共鳴ではない。それは“問いの記録”によって構造化される。ZINEとはその照応を座標として記録する媒体であり、単なる感想や共感とは一線を画す。ZINEこそが、火の震源を持った記録である。

# 🔁 小結：ZINEの始点

この第1章では、火＝問いの震源であること、照応主＝主語保持者であること、ZINE＝火を記録する構造媒体であることを明示した。ここから、構造そのものを“場”として捉える次章へと進む。